

# 第3章 教育の現状と取り組むべき課題

## 1 教育の現状と取り組むべき課題

### ○社会を生き抜く力の育成

自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成が教育の目指すべき姿であり、新学習指導要領の趣旨である子どもたちに社会を生き抜く力を育成する教育の実現が求められています。

### ○新たな知識と技術への対応

情報化の推進により、Society5.0が到来します。新しい時代に対応した、ICT（情報通信技術）の利活用をはじめとする情報社会に対応する技術が、児童生徒や教職員にも必要となります。新たな知識や技術の活用などが求められるようになり、質の高い教職員の育成が不可欠となっています。

### ○学校・教職員の役割の多様化

多様化するニーズや個々の子どもたちに応じたきめ細かな対応が求められており、学校・教職員に求められる役割が増大しています。子どもに寄り添った指導を行っていくとともに、一方で、教職員の役割が多様化し負担が増してきていることから、新たな働き方への対応が必要となります。

### ○環境整備と教育の質の向上

将来的な児童生徒数の減少や学校の小規模化が加速しています。小中一貫教育等を前提とした、児童生徒にとってより良い教育環境を整備し、教育の質の更なる充実を図ることが、これまで以上に重要であると考えます。

### ○安全・安心な環境の確保

子どもたちの安全・安心な環境の確保のために、家庭・学校・地域の連携による社会総がかりで児童生徒を育てていくことが、より一層必要となっています。

## ○個々の状況に応じた支援

困難さを抱えている児童生徒や青少年について、個々に応じた適切な支援がますます必要となっています。学びの場や居場所の確保、社会的自立に向け、すべての子ども・若者が社会生活を円滑に営むことができるような取組が求められています。

## ○魅力あふれる市立高校

急激に変革している今の時代は、社会を生き抜く力が今まで以上に重要となってきています。市立高校においても、学校・地域が連携協力した教育環境の充実を図り、未来を切り拓くことのできる生徒を育成するとともに、情報化など時代の変化に対応し、少子化が進む中においても、選ばれる学校として持続可能な学校経営が求められています。

## ○生涯にわたる学びの推進

持続的な社会を維持する構成員として市民が活躍し続けることが重要になっています。社会参画、地域コミュニティの維持・活性化への貢献等、社会変化に対応した学習機会の提供の重要性が、更に高まっています。また、情報社会に対応した学びも求められています。

## ○文化・スポーツの推進

文化・スポーツ活動等を通じて、全ての市民が活躍し続けるためにも、生涯にわたって学び続けることが大切です。ライフステージに応じて、必要な知識技能を身につけ、生涯にわたって学びつづける環境づくりが求められています。